

WS:「大人やこどもがともに楽しくまなび合うまち」になるために必要なこと。

Aグループ

地域教育の普及	社会教育人材の育成	ネットワークの形成	まなびの場に参加しやすい環境づくり	行政がすべきこと
【子どもたちの多様な居場所】	【人と人をつなぐ人材】	【多様な主体の連携】	【情報発信】	【組織間連携】
・学校と自治協議会(振興会)の連携	・人と人を継ぐ人が必要	・学校・地域・企業の人との連携が必要	・情報の発信方法オンライン(SNS)	・教育委員会と首長部局の密な連携
・地域が居場所になる	・多様な世代をつなぐ	・振興会のネットワークを生かす		
・学校になじめない子の居場所が必要		「学校・地域・多様な人」	【機会提供】	
・学校が拠点・学校が多様な機能を持つ	【学びの場づくりができる人材】	→三角関係では難しい？	・環境が整わないと学ぶ余裕が生まれない	
・人が常に入れ替わり続ける場	・楽しい場をつくる人	・グループ同士のつながり	・多様なジャンルの機会が必要	
→特定の人がいないと場がなくなる？	・旗振りができる人	・高齢者グループのつながり	・平日に強制的に共有する時間をとる	
・いつもと違う場所に行くことが普通に	・機会の提供ができる人			
			【学びの環境】	
【大人が楽しむ】	【地域リソースの活用】		・人間環境	
・経験のある大人が子どもに伝える	・地域資源(ヒト・モノ)の活用		・認めてあげる個性を拾い上げる	
・主催者も楽しむ			・お互いを認める社会	
・楽しみながらイベントにする。			・失敗を許容する関係性	
【大人も子どものつながり】			【個人】	
・大人も子どもも互いにまなび合う			・経済的・時間的余裕	
・多世代間のギャップを楽しむ				その他意見
・子どもの想いを大人が応援する				
・学校の学びを地域で発表⇔学校に集う				
・生郷塾 宿題を地域の方に見てもらう				
・一緒においしいものを食べる				
・目的は違って同じ場所でやる				
→(例:図書館など)				

WS:「大人や子どもがともに楽しくまなび合うまち」になるために必要なこと。

Bグループ

地域教育の普及	社会教育人材の育成	ネットワークの形成	まなびの場に参加しやすい環境づくり	行政がすべきこと
【子どもたちの多様な居場所】	【人と人をつなぐ人材】	【多様な主体の連携】	【情報発信】	・まちのビジョンを示す
・中学生・高校生の活躍の場		今あることを組み合わせる	・口コミ、知人からのおすすめ	・組織の横断連携
・地域に出る	【学びの場づくりができる人材】	→出会いになる		・地域にお金を出す
→「すごいこと」ではなく「面白いこと」へ	・学びの場を作る人材を増やす		【機会提供】	・学校図書館の充実
・大人と一緒に失敗すること			・学ぶきっかけをつくる	・学校図書館司書の配置
・この場(審議会)に中高生がくること	【地域リソースの活用】		・はじめの一步をだしやすくする	
・放課後をもっと自由にする	・特技やスキルを持った人が活躍できる		・機会(選択肢)がたくさんあること	
・学校図書館の充実			→「やってみようかな」を目指す	
【大人が楽しむ】			【学びの環境】	
・大人が楽しくまなべる場を作る			・場に「あそび(余白)」をもたせる	
・遊び→楽しいにつながる(学び合い)			・学ぶ(自分)人を認めてくれる人がいる	
・遊びながら経験・体験をする			・自分たちでやっている感	
・運営側も楽しく			・喜びを分かち合う人の存在	
			・一緒に活動する仲間がいる	その他意見
【大人も子どものつながり】				・丹波市の文芸本を年に1～2度出す
・共通体験が(まなびの)きっかけになる			【個人の状況】	・大人と子供の学びはおのずと違う
・同じ達成感を味わう			・生活の多様化	・硬い→助け合い
・誰でもセンセイになれる			・経済的、時間的余裕	
・大人も中高生と同じ対等の立場で関わる			・小さくまなび始める	
・市民が自ら学ぶ意識の向上			・学んだことが自分の生活に役立つ	

WS:「大人やこどもがともに楽しくまなび合うまち」になるために必要なこと。

Cグループ

地域教育の普及	社会教育人材の育成	ネットワークの形成	まなびの場に参加しやすい環境づくり	行政がすべきこと
【子どもたちの多様な居場所】	【人と人をつなぐ人材】	【多様な主体の連携】	【情報発信】	
・中学生高校生の活躍する場		・企業を取り込む		
・小学生 中学生 高校生 交流	【学びの場づくりができる人材】	・若手社会人が楽しめる機会づくり		
・放課後をもっと自由に		・障がいを持った方が集える場所づくり	【機会提供】	
・先生と遊ぶ	【地域リソースの活用】	・学校と地域の連携	・教える楽しさを味わう	
・子どものやりたいことを実現する	・地域資源の活用	→PTA・保護者が参加したくなる	・主体性と強制(機会)のバランス	
・自治振興会の活用	・若いリーダーの育成	→一緒に活動したくなる	・若者のチャレンジを応援する	
	・予算の確保		・参加しにくい人への学びの提供	
		【地域コミュニティ】		
【大人が楽しむ】		・近所付き合いが希薄	【学びの環境】	その他意見
・運営する側も楽しむ		・移住者 他市町の方がとのつながり	・人がいつもいる場所 居場所	・個人情報の保護(バランス)
		・小学校の統合による地域の在り方	→秘密基地的な拠点	・花火大会なくなった。
			・図書館をハブにする	・先生が変わると地域との関係が変わる
【大人も子どものつながり】			→ミニ図書館(本を借りる場所を増やす)	・無礼講
・教育者と学習者が入れ替わる			→移動図書館	・笑顔
・企画する側に子どもの発想を				・スプラッシュ丹波
・多世代で教え合う			【個人の状況】	・生涯学習DAY(フェス)
・高校生が教える教室			・経済的余裕がない	・ボードゲーム
・世代間のギャップを楽しむ			・土日は休みたい	・eスポーツ施設
・地域の大人と子どもが混じわる			・自分の時間、自由な時間	・ボッチャ モルック
・遊びながら経験する(体験)			・いつまで働く？	
・学校の中に地域の事務所をおく			・ルーティーン+学び、すきま、あいだ	
・オープンスクール(地域に)				

WS:「大人やこどもがともに楽しくまなび合うまち」になるために必要なこと。

Dグループ

地域教育の普及	社会教育人材の育成	ネットワークの形成	まなびの場に参加しやすい環境づくり	行政がすべきこと
【子どもたちの多様な居場所】	・社会教育士の育成	【多様な主体の連携】	【情報発信】	・市が生涯学習のまちを宣言する
・放課後をもっと自由に		・団体のつながり・企業、NPOなど		
→自分の好きな遊びを地域で	【人と人をつなぐ人材】	・自治協議会がつながり助ける		
・安全な学校	・つながりをつくりだす人の育成	・地域外の人に来て新しい発想	【機会提供】	
・学校の中に居場所を設ける		・共有する時間をつくる	・ちっちゃなつながり	
	【学びの場づくりができる人材】	・オンライン・バーチャル・リアルのつながり方	→小さく始めてみる・やってみる	
【大人が楽しむ】	・仕掛けをする人の育成	→YouTube	・地域の誇れることを学ぶ	
・大人をまきこむ	・(社会教育関係)の仲間	・学校＋自治協	・時代に合った新しい学び方	
・自分が楽しめること		・地域と保護者をどうつなぐのか		
		・つながりの希薄さ	【学びの環境】	その他意見
【大人も子どものつながり】	【地域リソースの活用】		・きっかけづくり	・蛍について語り合う
・大学生や高校生などの若い人との活動	・昔遊び地域の達人	【地域コミュニティ】	・共通項をつくる	・スポーツクラブ「子ども理事」
・若いリーダーへのあこがれ		・自治会の組の活性化	・一緒にひとつのテーマですること	・eスポーツの施設
・先輩がキラキラしていた		・地域の活動に参加されない	・地域の良いところ探し	・ボードゲーム
・地域のイベントに参加する			・子どもが多い→楽しい	・定年が伸びた
・子どもの意見を集める			・楽しいと思える雰囲気	
→どうやって声をきく？			・認め合い	
・子どもの活動への参加・参画			→アイデアを否定されない	
・こども先生			・隠れ家	
・楽しくまなぶ				
→またできたを大切にする、成功体験			【個人の状況】	
・楽しそう⇔関わりたい			・暮らしの多様化	
・楽しくまなび合える場所				